

平成 23 年度 ・ 前期学期
【マクロ経済学Ⅰ ・ 期末試験】

岡村 與子

2011/08/10 1 時限 実施

注意事項:

- ① 試験時間は 1 時間です。携帯電話電源を切ってください。アラーム・クロックなどは鳴らないようにセットしてください。
 - ② 筆記用具・電卓(携帯電話の電卓機能の利用は不可) ・ 定規 以外の所持品は、 空いている椅子のなどにおいてください。それ以外のすべてのノート・教科書などの参照は不可とします。
 - ③ 解答にあたっては、解答用紙の紙面に整理して解答を書いてください。横幅が広すぎる場合などは、自分で区分する線を縦に引くなどして、見易くする工夫をしてください。
 - ④ 論述問題では、設問に対して解答し、論旨や説明がわかるように、言葉や表現に注意してください。専門用語を正しく理解し、使うようにしてください。
 - ⑤ 計算問題では、最終的な解答のみでなく、途中の計算過程も、思考過程が分かるように書いてください。最終的な解答のみの答案には配点されません。
- グラフや図を描く問題では、曲線が表す関数や座標軸で測る変数などを、定規などを使って丁寧に、分かりやすく示すこと。“形状だけ正解”の図には高い配点はされませんので注意してください。

【平成 23 年度・マクロ経済学 I・期末試験】

平成 21 年 7 月 28 日実施

【多肢選択問題】

☆次の【問 1】～【問 4】の各問では、最も適当な選択肢を一つだけ選んで解答用紙に記入してください。
(各 10 点)

【問1】 次の文章は、日本銀行（日本の中央銀行）の政策について述べたものであるが、これらの文章のうち、最も適当なものを一つだけ選びなさい。

- (ア) 日本銀行は財政政策と金融政策の両方を決定する権限を持っている。
- (イ) 日本銀行には、製造業やサービス業を営む一般の企業も企業規模におおじて口座を持つことができる。
- (ウ) 経済が不況の場合、日本銀行は金融を引き締めるため、貨幣供給量を減らそうとする。
- (エ) 経済が好況の場合、日本銀行は法定準備率を引き上げて、貨幣供給を増やそうとする。
- (オ) 経済が好況の場合、日本銀行は市中銀行に国債を売り（売りオペ）、通貨供給量を減らそうとする。
- (カ) 上の選択肢すべてが誤りである。

【問2】 次の文章は、債権（国債や社債など）について述べたものであるが、これらの文章のうち、最も適当なものを一つだけ選びなさい。

- (ア) ある会社の債権（社債）とは、その会社の事業に出資した証書であり、その会社の所有権の一部を得たことを示している。
- (イ) 債権の 3 要素とは、「額面」「満期」「総資産」である。
- (ウ) 債券価格は、市場金利（市場利子率）が上昇すると、低くなる。
- (エ) 国の国債残高は M1 の一部として、ハイパワードマネー（ベースマネーもしくはマネタリーベース）に数えられる。
- (オ) 上の選択肢すべてが誤りである。

【問 3】 次の文章はケインズモデルにおける投資市場と貨幣市場について述べものだが、これらの文章のうち最も適当なものを一つ選びなさい。

- (ア) ケインズより投資需要関数は、投資の平均効率曲線と呼ばれる。
- (イ) モデルの中では貨幣市場における貨幣供給関数は右上がりの直線で表される。
- (ウ) 企業の投資関数では、企業は内部収益率の低いものから投資をしてゆく。
- (エ) ケインズモデルで、貨幣需要を考えると、貨幣需要関数は外生的で、モデルの外で決まるとされる。
- (オ) 貨幣市場の金利は投資市場で決まった金利に誘導されて市場金利が決まる。
- (カ) 上の（ア）～（オ）のすべてが誤りである

【問 4】次のように、A,B 二つの現金のフロー（流れ）が示されているとき、これらのフローの、現在価値と将来価値について次の文章のうち最も適当なものを一つだけ選びなさい。

	現在	1 年後	2 年後
フロー A	－150 万円	110 万円	60.5 万円
フロー B	－100 万円	85 万円	30 万円

- (ア) 市場利子率が 2 年間を通じて、10%であるとする、フロー A の割引現在価値は 10 万円を上回っている。
- (イ) 市場利子率が 2 年間を通じて 10%であるとき、フロー B の割引現在価値は、マイナスになる。
- (ウ) 今、市場利子率が 2 年間を通じて 10%であるとする。このとき、フロー A もしくはフロー B のいずれかを選択する場合を考えると、A の方がより望ましいフローである。
- (エ) 市場利子率が 2 年間を通じて 5%であるとき、フロー A 全体の 2 年後の将来価値は、10 万円を上回っている。
- (オ) 上のすべてが誤っている。

【計算・論述問題】

☆ 【問 5】～【問 6】は論述・計算問題です。設問に対する解答を与えられた解答欄の範囲でできるだけ解り易く解答してください。

【問 5】(25 点) ある企業が 3 つの投資プロジェクトを抱えている。それぞれのプロジェクトは、「現在」すべての費用を払い、1 期後の「将来」すべての収益（利潤）を獲得するとする。

案件名	「現在」投資額（支出）	「将来」収益
A	250	255
B	720	746
C	600	636

- A) それぞれのプロジェクトに対する内部収益率（投資の限界効率）を求めなさい。ただし、小数点以下第三位で四捨五入すること。
- (例：0.060123… となる場合は、6.0123%なので、6.12%と答える。)
- B) 内部収益率の高いプロジェクトの順番にならべ、縦軸に内部収益率、横軸に投資総額をとり、投資需要関数を階段状のグラフに描きなさい。
- C) 今、市場利子率が 3%であるとき、この企業の総投資額を求めなさい。

【問 6】(35 点) 次のようにあるマクロ経済の財の市場が、次のように与えられている。この経済について後の問に答えなさい。計算過程で必要であれば、小数点以下第四位で四捨五入して解答すること。また関連するグラフを描くこと。

総需要関数： $AD = C + I + G$

消費関数： $C = 50 + 0.7Y_d$

投資需要： $I = 70$

但し、 Y_d は可処分所得、 G は政府支出で $G=50$ と所与で与えられているとする。

- (ア) 今、政府一括税を課し、その値は $T=20$ であるとする。このときの均衡国民所得と一括税の乗数を求めなさい。また、均衡国民所得を表す 45 度線図を描きなさい。
- (イ) 今、この経済の投資関数が、 $I=70-250r$ に変更された場合、投資関数を図に表しなさい。
- (ウ) この経済の利子率が所与で $r=0.01$ に固定されている場合、この経済の AD 関数を示し(ア) で書いたグラフ上に描き入れ、均衡国民所得はいくらになるか求めなさい。
- (エ) この経済における IS 関数を求めグラフに描きなさい。(ヒント：縦軸に利子率、横軸に国民所得をとること。)
- (オ) いま、市場利子率が貨幣市場において決定され貨幣需要関数（流動性選好曲線）が $M_d = 20Y - 300r$ であり、中央銀行が供給するマネーサプライ（貨幣供給）が $M_s = 160$ である。この経済の貨幣市場を表すグラフを(イ) で描いた投資関数の図のすぐ隣に描き、利子率の対応関係を示しなさい。
- (カ) LM 関数を求めなさい。また、(エ) で描いた座標軸上にこの LM 関数を描き加えなさい。
- (キ) 投資関数が(エ)のように、 $I=70-250r$ であり、貨幣市場が(オ)で示された状態である場合、財の市場と貨幣の市場を同時に均衡させる利子率と国民所得を求めなさい。